

指定管理者の令和6年度決算概要 ー 県央基幹病院 ー

- 開院当初は、安全確保の観点から患者受入れを制限したが、段階的に機能を拡大し、10月から本格稼働した中ではあるが、患者数は年間目標を概ね達成したほか、救急搬送件数は目標を上回るなど、「断らない救急」の実現に向けた取組みは着実に進んでいる。
- 一方で、病院決算については、入院に係る施設基準の取得が遅れたことなどにより、経常収益は、114.8億円（対予算▲24.1億円）、経常費用は、材料費の減などにより、125.1億円（対予算▲13.9億円）となった。
- 令和6年度の当期純損益は10.3億円の赤字となった。

(単位：百万円、%)

	令和6年度		令和6年度		増減額 ③=①-②	増減率 ①/②	参考 令和5年度 決算
	決算 ①	医業収支 比率	予算 ②	医業収支 比率			
経常収益	2 11,481	109.4	13,894	105.8	▲ 2,413	▲ 17.4	629
病院事業収益	10,497	100.0	13,137	100.0	▲ 2,640	▲ 20.1	420
入院診療収益	2(1) 7,063	67.3	8,514	64.8	▲ 1,451	▲ 17.0	226
外来診療収益	2(2) 3,088	29.4	4,385	33.4	▲ 1,297	▲ 29.6	194
病院事業外収益	7	0.1	0	0.0	7	100.0	1
受取補助金等	934	8.9	757	5.8	177	23.4	207
政策医療交付金	934	8.9	757	5.8	177	23.4	29
新型コロナ交付金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	178
その他収益	43	0.4	0	0.0	43	100.0	1
経常費用	3 12,512	119.2	13,898	105.8	▲ 1,386	▲ 10.0	1,088
給与費	6,935	66.1	6,830	52.0	105	1.5	518
材料費	3,054	29.1	4,390	33.4	▲ 1,336	▲ 30.4	248
その他経費	2,523	24.0	2,678	20.4	▲ 155	▲ 5.8	322
経常損益	▲ 1,031		▲ 4		▲ 1,027	25,675.0	▲ 459
経常外損益	▲ 3		0		▲ 3	100.0	0
税引前当期純損益	▲ 1,034		▲ 4		▲ 1,030	25,750.0	▲ 459
法人税等	0		0		0	0.0	0
当期純損益	1 ▲ 1,034		▲ 4		▲ 1,030	25,750.0	▲ 459
累積損益	4 ▲ 1,493		▲ 463		▲ 1,030	222.5	▲ 459

1 当期純損益 ▲10.3億円

2 経常収益 114.8億円 (対予算▲24.1億円)

(1)入院診療収益 70.6億円 (対予算▲14.5億円)

- 開院当初はHCU※の院内体制が整わず、診療報酬上の施設基準は未取得のまま稼働(▲11.6億円)

・入院診療単価 予算：72,969円/人・日
実績：59,546円/人・日(▲13,423円)

※HCU：ICUと一般病棟の中間に位置する病棟

(2)外来診療収益 30.9億円 (対予算▲13.0億円)

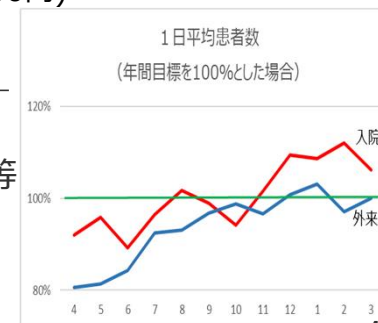
- 外来患者数は概ね確保できたものの、高度専門治療を行う患者が想定未満だったため外来診療単価は低調

・外来診療単価 予算：27,314円/人・日
実績：20,564円/人・日(▲6,750円)

3 経常費用 125.1億円 (対予算▲13.9億円)

- 高度専門治療に係る医薬品等の使用量が想定未満となったことによる材料費の減等

4 累積損益 ▲14.9億円 (R5：▲4.6億円)



指定管理者の令和6年度決算概要 — 県央基幹病院 — (主な経営指標)

■ 入院診療

	R6年度見込	R6年度実績	比較	R7年度見込
入院患者数 (人/日)	321.6	323.0	+ 1.4	340.0
病床稼働率 (%)	80.4	80.8	+ 0.4	85.0
入院診療単価 (円/人・日)	72,969	59,546	▲ 13,423	65,055

	R6年度前半	R6年度後半	比較
入院患者数 (人/日)	307.6	338.7	+ 31.1
病床稼働率 (%)	76.9	84.7	+ 7.8
入院診療単価 (円/人・日)	57,853	61,083	+ 3,230

- ▶ 入院患者数及び病床稼働率の年度実績は、見込を上回った。
- ▶ 入院診療単価の年度実績は、診療報酬上の施設基準を順次、取得したものの、見込より13,423円/人・日減

■ 外来診療

	R6年度見込	R6年度実績	比較	R7年度見込
外来患者数 (人/日)	660.6	618.3	▲ 42.3	630.0
外来診療単価 (円/人・日)	27,314	20,564	▲ 6,750	21,000

	R6年度前半	R6年度後半	比較
外来患者数 (人/日)	582.1	656.5	+ 74.4
外来診療単価 (円/人・日)	20,442	20,696	+ 254

- ▶ 外来患者数の年度実績は、見込より42.3人/日減
- ▶ 外来診療単価の年度実績は、高度専門治療を行う患者が想定よりも少なかったため、見込より6,750円/人・日(見込比75.3%)減

■ 紹介・逆紹介率

	R6年度見込	R6年度実績	比較
紹介率 (%)	50.0	72.5	+ 22.5
逆紹介率 (%)	70.0	75.6	+ 5.6

- ▶ 紹介率及び逆紹介率の年度実績は、周辺医療機関との連携が順調に進み、見込を上回った。

※紹介率=(紹介患者数/初診患者数)×100
 ※逆紹介率=(逆紹介患者数/初診患者数)×100

■ 救急搬送

	R6年度目標	R6年度実績	比較
救急搬送件数 (件)	6,000程度	6,412	+ 412

	開院前(R5)※1	R6実績※2	比較
県央圏における救急搬送総数 (件)	9,689	10,083	+ 394
圏域内搬送数 (件)	7,642	8,788	+ 1,146
圏域内完結率 (%) ※3	78.9	87.2	+ 8.3
救急搬送時間 (分) ※4	58.2	52.5	▲ 5.7

※1：R5.1～12 ※2：R6.4～R7.2 ※3：目標は95%程度 ※4：R5.12とR6.12の比較

- ◎ R6年度後半の入院診療 (患者数、病床稼働率) については、R6年度見込を大きく上回ったほか、外来診療 (患者数) についても、ほぼ同水準
- ◎ 救急搬送件数は、目標としていた6,000件を上回る6,412件を受け入れたほか、圏域内完結率は、圏域全体の救急搬送件数が増えている中で、8.3ポイント上昇

県央基幹病院の持続可能な経営に向けた取組

- 累積赤字の解消に向けて、早期の収支改善に取り組むとともに、救急患者の受入れ・周辺病院との機能分担など地域連携を更に進める必要がある。
- 引き続き、「断らない救急」の実現に向け、圏域内救急の最後の砦として、疾患、病状の区別なく救急患者の幅広い受入れを進めるとともに、地域の医療機関の役割分担を更に図っていくことで、「地域でひとつの病院」のように機能する医療提供体制の構築を目指していく。

R6年度実績を踏まえた主な課題

1 収支に係る課題

〈入院診療収益(入院患者数×入院診療単価)〉

- 紹介患者が同規模病院に比べ少ない。
(R6年度紹介患者 : 7,133人)
- 同規模病院が取得している入院診療報酬加算の未取得(総合入院体制加算3など)

2 地域連携に係る課題

(1) 救急

〈圏域内完結率〉

- 開院初年度から6,412件の救急搬送を受け入れたことなどにより、圏域全体の圏域内完結率は87.2%と開院前(R5)から8.3ポイント上昇したが、目標の95%には至っていない。

	開院前(R5)※1	R6実績※2	比較
圏域内完結率 (%)	78.9	87.2	+ 8.3

※1: R5.1~12 ※2: R6.4~R7.2 目標: 95%程度

〈軽症患者割合〉

- 軽症患者割合が50.2%と、県平均よりも高く、現場の負担が大きい。

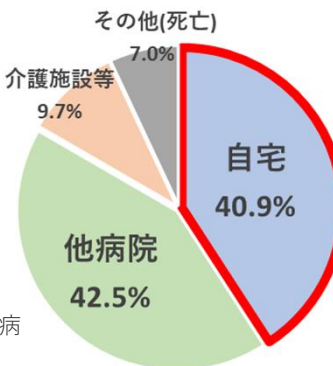
	R5全県	R6年度県央	比較
軽症患者割合 (%)	38.0	50.2	+ 12.2

※救急搬送患者のうち入院しなかった患者の割合

(2) 周辺病院との機能分担

- 病院を退院する患者のうち、自宅に帰る患者の割合が高いことから、機能分担が進んでいないなどの可能性がある。

R6.4~8 県央基幹病院退院先実績
※他病院には圏域内の地域密着型病院や圏域外の病院を含む



R7年度の取組

- 圏域内医療機関からの患者紹介を強化することによる患者増
- R6年度に取得できなかった入院診療報酬加算の取得による診療単価の向上
- 救急患者受入れの応需率をより高くすることで圏域内完結率を向上
- 県と市町村で連携し、救急車の適正利用などについて住民へ啓発
- 地域密着型病院への逆紹介の推進など入院連携等の強化

収支目標

- 収支改善や地域連携等に係る取組を進め、R9年度での収支均衡を目指す

単位: 百万円

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
経常収益	11,481	12,116	12,262	12,778
医業収益	10,497	11,203	11,401	11,946
入院診療収益	7,063	7,592	7,770	8,315
外来診療収益	3,088	3,373	3,373	3,373
その他医業収益	346	238	258	258
医業外収益	984	913	861	832
政策医療交付金	934	865	837	806
その他医業外収益	50	48	24	26
経常費用	12,512	12,558	12,607	12,745
人件費	6,935	6,960	7,099	7,241
材料費	3,054	3,000	3,000	3,018
その他経費	2,523	2,598	2,508	2,486
経常損益	▲ 1,031	▲ 442	▲ 345	33
経常外損益	▲ 3	0	0	0
純損益	▲ 1,034	▲ 442	▲ 345	33
累積損益	R5 : ▲459	▲ 1,493	▲ 1,935	▲ 2,280
			▲ 2,280	▲ 2,247